

平成 30 年度ふるさと納税「飯田市 20 地区応援隊」実績報告

ムトスまちづくり推進課

1 制度の概要

20 地区が進める田舎へ還ろう戦略では、地区の魅力の再発見を行いながら、それぞれの地区の資源を活かした地域振興策や交流人口拡大に向けた具体的な取組の検討をまちづくり委員会や地区の住民とともに進めている。ふるさと納税「飯田市 20 地区応援隊」は、この地区の取組を応援する仕組みとして、地区の魅力や取組を「20 地区応援隊」特設サイトで発信すると共に、ふるさと会等で働きかけを行うことにより、地縁者をはじめとする全国の人たちが 20 地区の活動に興味をもってもらい、寄附による関係人口の構築とその地区へ訪れる交流人口の拡大を目指す。

2 これまでの状況

H29. 6. 1 飯田市 20 地区応援隊制度構築、募集開始

H29. 12. 1 特設サイト開設

H30. 3. 31 平成 29 年度実績：5 地区に対し 9 件 297,000 円の寄附を受領

3 平成 30 年度の寄附状況

平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月末まで

地区	寄附受領額	件数	備考
松 尾	25,000 円	2	子育て支援活動に活用
下久堅	100,000 円	1	都市農村交流事業に活用
千 代	30,000 円	1	よこね田んぼの保全活動に活用
竜 丘	7,000 円	2	鶯流峡復活プロジェクト活動に活用
川 路	550,000 円	3	地区の情報発信事業に活用
三 穂	1,160,000 円	11	三穂地区活性化プロジェクト事業に活用
伊賀良	53,000 円	3	日本一の学校図書館の充実事業に活用
鼎	108,000 円	2	鼎パワーアップ事業に活用
上 村	10,000 円	1	小水力発電事業の推進に活用
南信濃	90,000 円	2	遠山郷花街道整備事業に活用
合 計	2,133,000 円	28	内、クレジットカード決済 6 件

4 今後の方向性

平成 30 年度においては、各地区がホームページによる情報発信や東京ふるさと会などを通じて地区出身者を中心に寄附を呼びかけてきた結果、当初予算を大きく上回る寄附をいただくことができた。

今年度も引続き未来デザイン 2028 の基本目標 8 「新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる」の目標に向け、支援を求める具体的なプロジェクトの内容、取組、思い、課題などを明確化した情報発信を行うと共に、寄附者に対して財源の使途や事業経過を見える形でお返ししながら、交流人口の増加や人的なネットワークの構築に向けた各地区の取組に対する支援を行っていく。